

お陀仏

お前だけなら 負けてもいい

二、三の人には軽い嘲笑を

一、二の人には止めどない涙を

そして五、六の人にはただの沈黙を
もたらすかも知れないだけだ

地球は

お前のお陀仏とは何の関係もなく

ありふれた明日を迎えるだろう

お前が負けるということは

お前と同じような あるいは

お前以下のところで生きている

決して少くない人びとに

冷たく背を向けることだ

その人たちに

お前たちも負けてしまえと

言うにひとしいのだ

お前のお陀仏の

歴史的意義はゼロ

社会的意義はマイナス

(一九五四・二)